



取扱 説明書

7500 シリーズ：UG7500、UG7500E、UPP7500、
UPP7500E、UG7500LE、UG7500HE
自動スプレーガン洗浄機



〒162-0067 東京都新宿区富久町32-3 東新富久町ビル304

株式会社 Tel. 050-1725-3539
<https://uniram.jp/> ·Kein.song@uniram.com

改訂 2019年2月版

はじめに

ユニラムは、革新的な製品に採用された設計に関し、多数の特許を保有しております。すべての機械は、品質保証基準に準拠しているか試験を実施しています。本機械を安全かつ効果的に操作するには、本書の「設置」「操作」「保守」の項に記載された手順に従ってください。これらの指示に従わない場合、誤動作や機械の損傷を引き起こす可能性があります。取扱説明書は、オペレーターが常にすぐに参照できる場所に保管してください。本機械の操作に関するご質問がございましたら、ユニラムのサービスエンジニア（1-800-417-9133）までお問い合わせください。

機種	7500	7500E	UPP7500	UG7500LE	UG7500HE
圧力ポット洗浄及びホース洗浄			○		
圧力ポットホース洗浄			○		○
手動洗浄ブラシ	○	○	○	○	○
蛇口付き手動 rinses	○	○	○	○	○
コンボ対応		○	× (注)	○	○
洗浄用溶剤バケツ	○	○	○	○	○
rinse用溶剤バケツ	別途要・付属なし	○	別途要・付属なし	別途要・付属なし	○
オーバーフロー管及び立管	不要	○	不要	○	○
スプレー・アウト用フィルター					
梱包サイズ (幅×奥行×高さ)	38×26×68インチ 96×66×173 cm				
梱包重量 (lb / kg)	185 / 84				

注記: UPP7500Eモデルはコンボ対応である点を除き、UPP7500と同じ仕様です。

UPP7500、UG7500LE、UG7500HEの詳細については、「洗浄サイクル」以降のセクションで説明しています。

共通機能

- ・自動洗浄、自動エアフラッシュ、自動溶剤 rins
- ・手動洗浄用フロースルーブラシ、流量調整機能
- ・手動リノス用蛇口、流量調整機能
- ・スプレーガン2本とポット2個を同時洗浄可能
- ・吸入ホース先端に設置されたステンレス製吸入フィルターにより、異物のポンプ及び洗浄バケツへの侵入を防止
- ・スワール作用を備えた14本の洗浄ジェット
- ・梱包サイズ/重量：幅38インチ(96cm) × 奥行26インチ(66cm) × 高さ68インチ(173cm)、重量185ポンド(84kg)

注意事項および警告

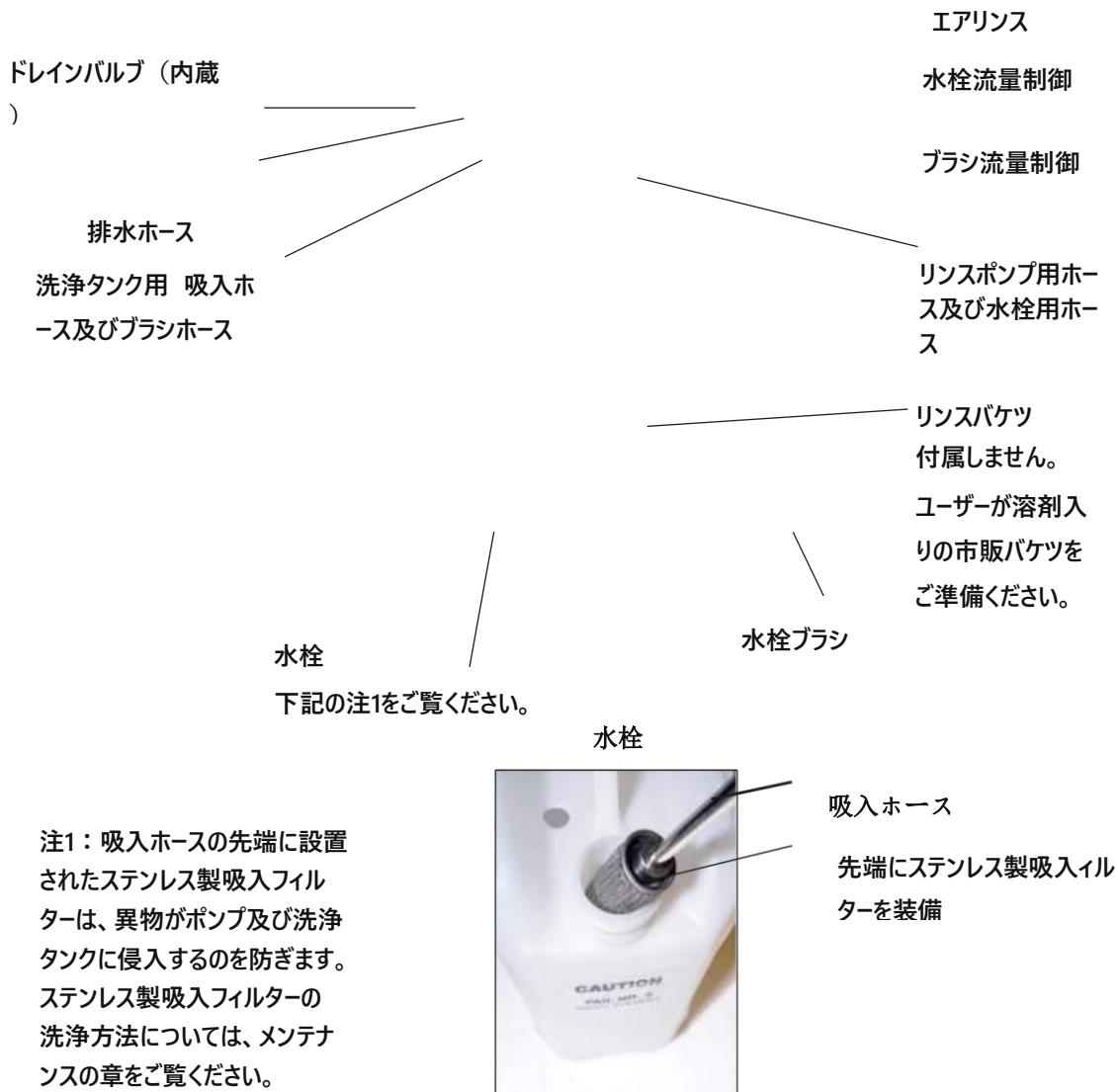
- ・メンテナス作業実施前は、必ず本機の電源を遮断してください。
- ・喫煙や、火気、火花、高温源の付近での使用は絶対に行わないでください。
- ・すべての接地線が接続されていること、およびユニット自体が適切に接地されていることを確認してください。

安全装備

- ・保護メガネ、呼吸用保護具、保護服を着用してください。
- ・ロングサイズの高品質クロロブレン手袋（SAS PN 6588、または Thicksters 品番 6602-20～6605-20）を着用してください。

UG7500





セットアップ

納入検査

- 輸送箱に輸送損傷の痕跡がないか入念に点検してください。箱から装置を慎重に取り出し、本体を点検してください。輸送中の損傷が確認された場合は、直ちに運送会社とユニラム株式会社（Uni-ram Corporation）にご連絡ください。運送会社に対してフレートクレーム（輸送損傷賠償請求）を提起してください。メーカーは輸送中の損傷については責任を負いません。

袋詰めされた付属品には、以下が含まれます：

- 取扱説明書

- 使い捨てカップシステム／従来型カップシステム用 プッシュオンノズル延長 (110-430PPS)
- 従来型カップシステム用 プッシュオンノズル延長 (110-430)
- キット - プラグ、トリガーロックスプリング、2個パック (140-2340)
- 通気口及びフードドアサポート (780-3723)

設置場所

装置は十分に換気のされた場所に設置し、火花、高温、裸火から远离してください。背面は壁から少なくとも6インチ（約15 cm）以上離してください。

空気供給

- オスエア供給アダプタ（別途ご準備ください）を装置側のメスエア吸気口に接続してください。オスエア供給アダプタは1/4インチNPTです。
- メスエア供給ホースをアダプタに接続してください。エア供給ホースの内径は少なくとも3/8インチ必要です。供給空気の圧力は少なくとも85 PSIであるとともに、供給空気からは水分、粉塵、錆、タル、油脂などの汚染物質を除去してください。クリーンでドライな空気が供給されない場合は、モイスチャーフィルター（脱湿フィルター）をご設置ください。ポンプその他各部の作動性能及び寿命は、クリーンでドライな供給空気に依存します。
- ダイアフラムポンプの損傷を防ぐため、内部にエア圧力レギュレーターが設置されており、空気圧を85 PSIに制限しています。それ以外にエア圧力レギュレーターを設置したり、85 PSI未満の圧力に設定したりしないでください。

接地

- 装置背面の緑色の接地線を、接地線に取り付けられたリング端子を使用して、建物の接地端子に必ず接続してください。
- 注：ポンプ及び各バケツに挿入する金属管は接地済みです。



溶剤の選定

近年、自動車用塗料の密着性は著しく向上しています。溶剤の選択は極めて重要です。お使いの塗料に適合し、自動噴射ガン洗浄機での使用を想定した高品質な溶剤を必ず使用してください。塩素系溶剤は絶対に使用しないでください。

- 「Naked Gun Gold」相当品などの、高品質で規格に適合した溶剤を使用してください。

バケツ設置

初めにUG7500のバケツ設置について説明し、その後でUG7500Eのバケツ設置について説明します。

通気口及びフードサポートの取付

通気口位置

- 通気口キットは付属品袋の中にはあります。キャビネット天板の下面にある通気口用の穴を確認してください。右側及び左下の写真を参照してください。
- 通気口を穴に押し込み、前方のネジ穴にネジを1本取り付けてください。必要に応じて通気口を所定の位置に押さえ、キャビネット上面から手を入れて、そのネジに蝶ナットを取り付けてください。下図左下の写真を参照してください。
- 他の3本のネジと蝶ナットも同様に取り付けてください。この時点では蝶ナットを締め付けないでください。
- シンク内部の通気口近くに位置する青色のエアホースを、通気口に接続してください。
- 蝶ナットとキャビネット天板の間にフードサポートを配置し、4つの蝶ナットを締め付けてください。下図右下の写真を参照してください。



キャビネット天板部通気口

フードサポート



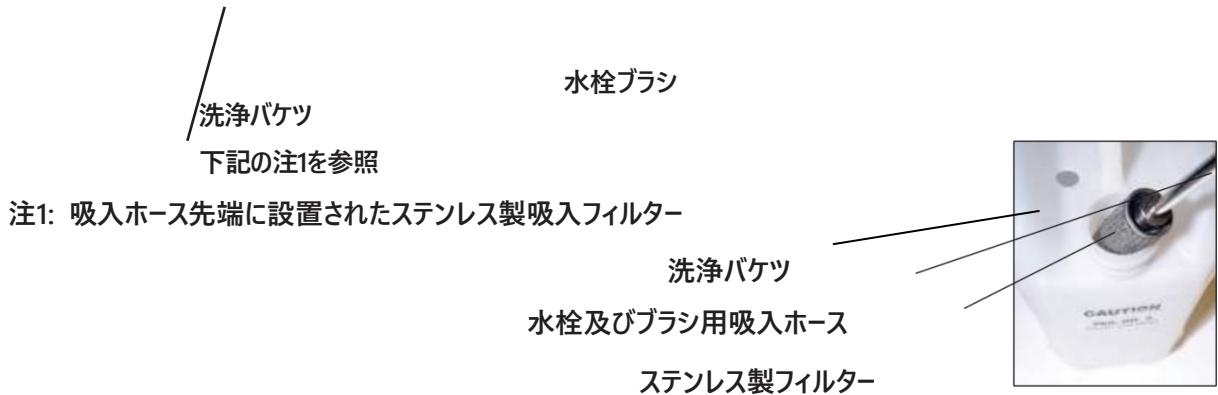
バケツ設置 - UG7500

- キャビネットのドアを開けてください。
- 本スプレーガン洗浄機には樹脂製バケツが1台付属しています。黒色の排水ホースと吸入ホースはこの洗浄バケツに挿入されています。下記の装置写真を参照してください。ステンレス製吸入フィルターは吸入ホースの先端に設置され、異物がポンプ及び洗浄タンクに到達するのを防ぎます。下記のフィルター写真を参照してください。このフィルターは毎月清掃が必要です。清掃手順は「定期保守」の章で説明しています。



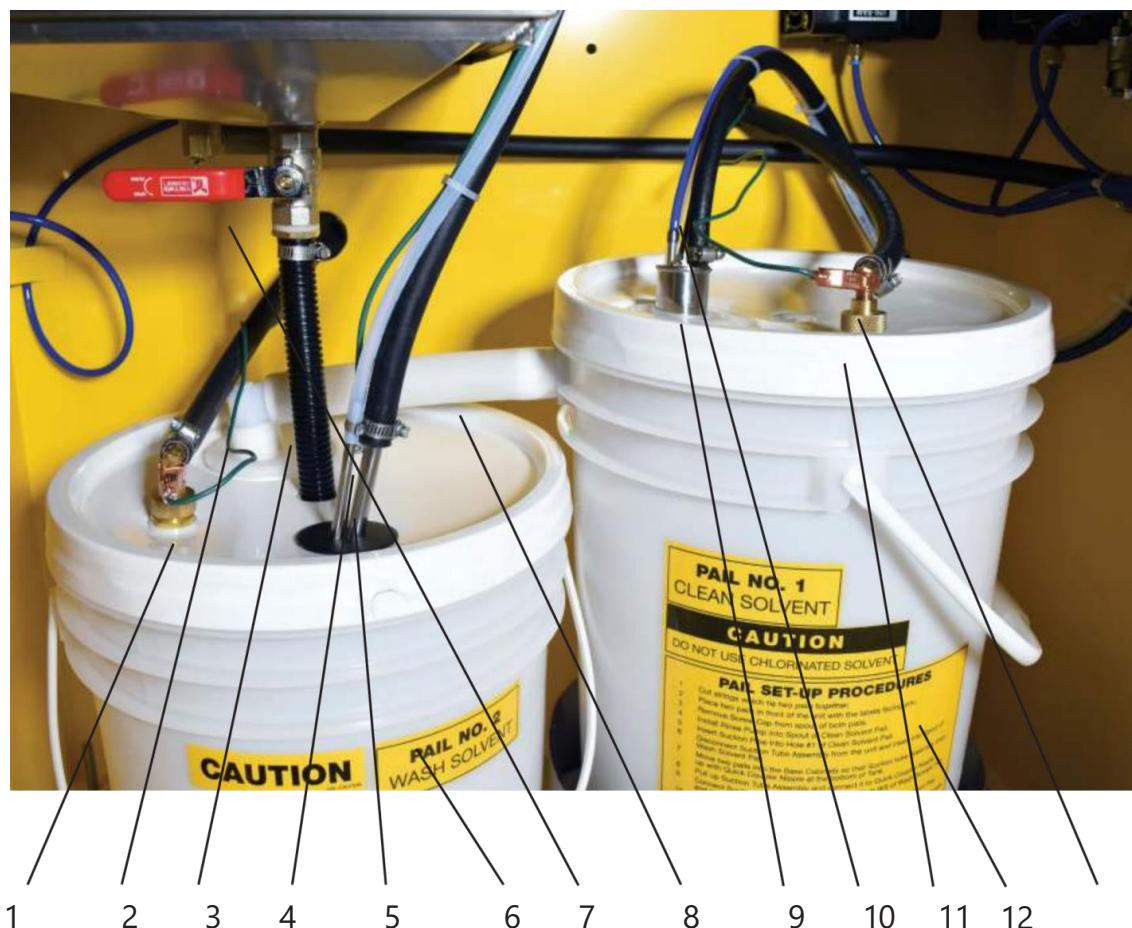
- 排水バルブが開位置（ハンドルが垂直）であること、及び排水ホースが（左側の）バケツに挿入されていることを必ず確認してください。





バケツ設置 - UG7500E

ガンクリーナー・溶剤リサイクラー複合機



13

品番	項目	品番	項目
1	接地線	8	溢流管
2	リサイクラーへの移送ホース（出口）	9	リンスポンプ

3	排水ホース	10	リンスポンプ用エア供給
4	流通式ブラシ用吸入管	11	接地線
5	自動洗浄用吸入管	12	クリーンバケツ
6	洗浄バケツ	13	リサイクラーからの移送ホース（入口）
7	排水バルブ（水平位置=閉）		

バケツ設置 - UG7500E

- 複合対応機種（UG4000E及びUG4500E）には、図示の通りバケツが既に設置されています。
- 転送ホースは、複合運転用に設計されたユニラム製溶剤リサイクラーに付属します。
- 洗浄バケツに約3ガロン（12リットル）の清浄な溶剤を投入してください。
- リンスバケツに約5ガロン（19リットル）の清浄な溶剤を投入してください（溢れ防止管の約1インチ下を満たす量）。
- バケツ設置後、排水バルブが開放状態（ハンドルが垂直位置）であることを必ず確認してください。



事前洗浄 - 使い捨てカップ方式

- エアホースからスプレーガンを切断してください。
- 写真（右端）に示す使い捨てカップアダプターに溶剤を噴射してください。
- ガンのトリガーを引いて、液剤通路を洗浄し、溶剤を塗料廃液容器（ユーザー準備）に排出後、適切に廃棄してください。
- …

プレクリーン流体流路

事前洗浄 - 従来型カップ方式

- エアホースからスプレーガンを切断してください。

液剤通路の事前洗浄

- カップを外し、塗料廃液を塗料廃液容器（ユーザー準備）に移し替えてください。

スプレーガン及びカップの洗浄

- デジタルエアゲージが装着されている場合は、取り外してください。
- スプレーガンのエアキャップを2回転緩めてください。
- トリガーロックスプリングでトリガーを開放位置で固定してください。
- 下記の写真を参照してください。



ゲージ取り外し

トリガーロックスプリング

トリガーロックスプ リング取り付け

状態

タンク内に設置されたスプレーガン



キャップは角部
ジェットに向け
る

る

エアプラグ

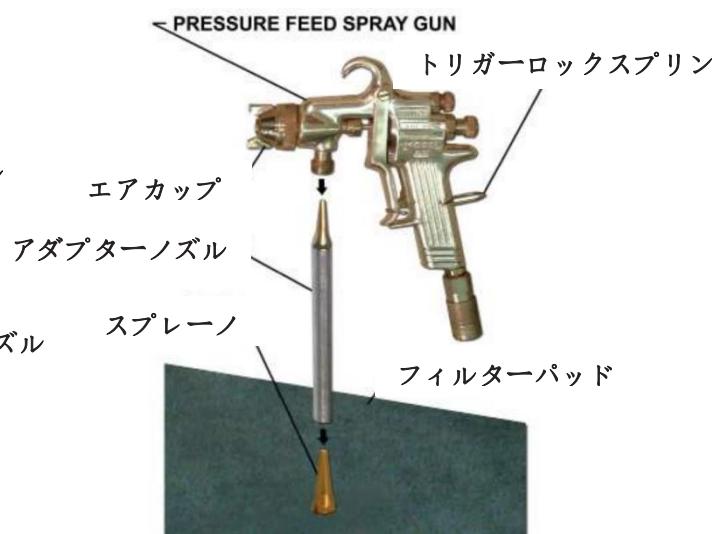
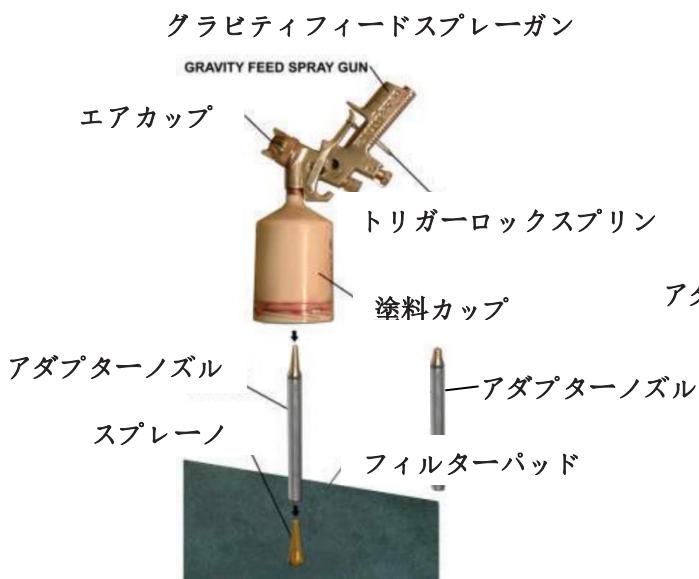
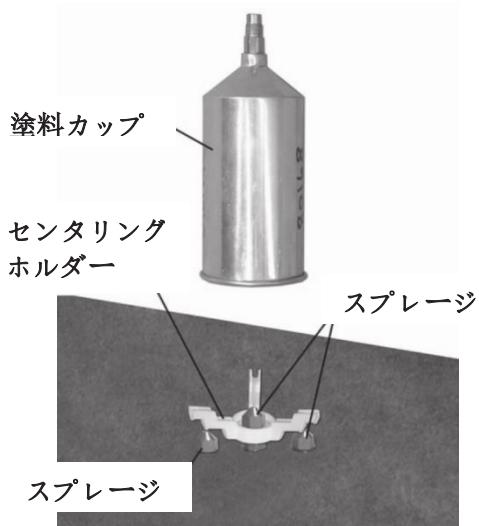
第二スプレーガン用プッシュオンノズル延長取付位置



タンク内へのスプレーガン取付

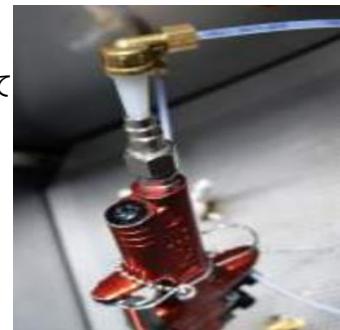
- スプレーガンをノズル上に設置し、キャップが角部を向くようにしてください。右図及び上図を参照してください。

ノズル延長へのスプレーガン取付



スプレーガンのエア通路への溶剤侵入防止 :

- 下図の通り、プラスチック製プラグをエアフィッティングに挿入してください。
- 洗浄中はエアが通路に確実に流れます。

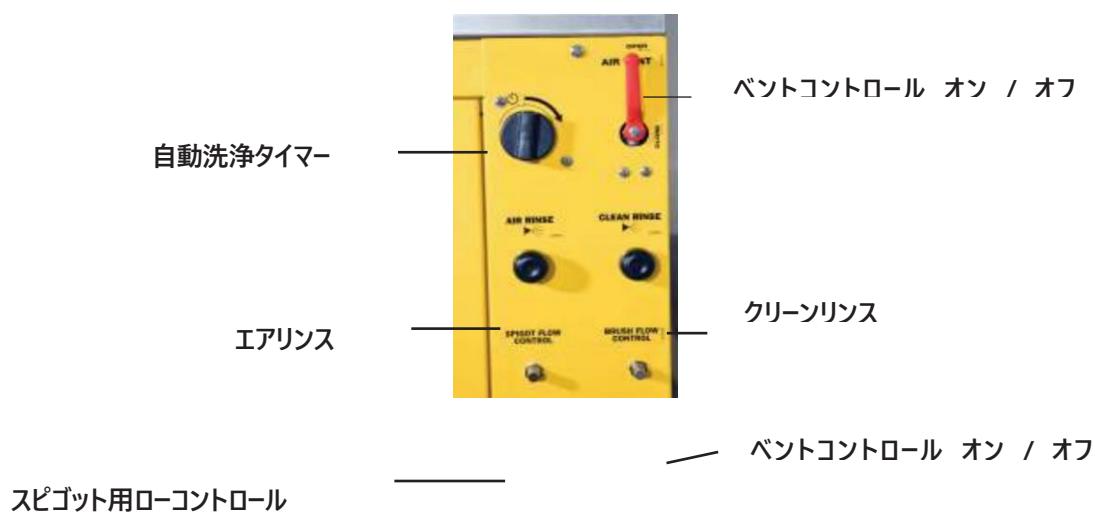


スプレーガンのエア通路に挿
入されたエアプラグ

- スプレーガンからエアプラグを外す場合は、チェーン付きの刻印ナットをトリガーロックスプリングと共にスプレーガンのエア通路に取り付けてください。

洗浄サイクル :

- 洗浄タンクの蓋を閉め、「自動洗浄タイマー」を時計回りに回してください（下図参照）。洗浄サイクルは約60秒間です。
- 「エアリンス」ボタンを約5秒間押し続け、洗浄溶剤を排出しスプレーガンにエアリンスを行ってください（下図参照）。
- 「洗浄リンス」ボタンを約5秒間押し続け、100ccの清浄な溶剤をジェットを通して送り、スプレーガンをリンスしてください（下図参照）。



手動洗浄

- 蓋を開け、洗浄タンクの背面壁にあるホルダーからブラシを取り外してください。
- フットペダルを踏んでください。専用ポンプにより流通式ブラシを通じて洗浄溶剤が供給されます。
- ブラシを通る溶剤の流量を調整するには、装置前面にある流量調整弁を調整してください。

流通式ブラシの流量調整

- 上図を参照してください。流量を増やすには、ロックナットを緩め、ダイヤルを反時計回りに回してから、ロックナットを締めてください。



流通式ブラシによるスプレーガンの洗浄

UPP7500、UG7500LE及びUG7500HEユーザー専用

UPP7500ユーザー専用

圧力罐とスプレーガン

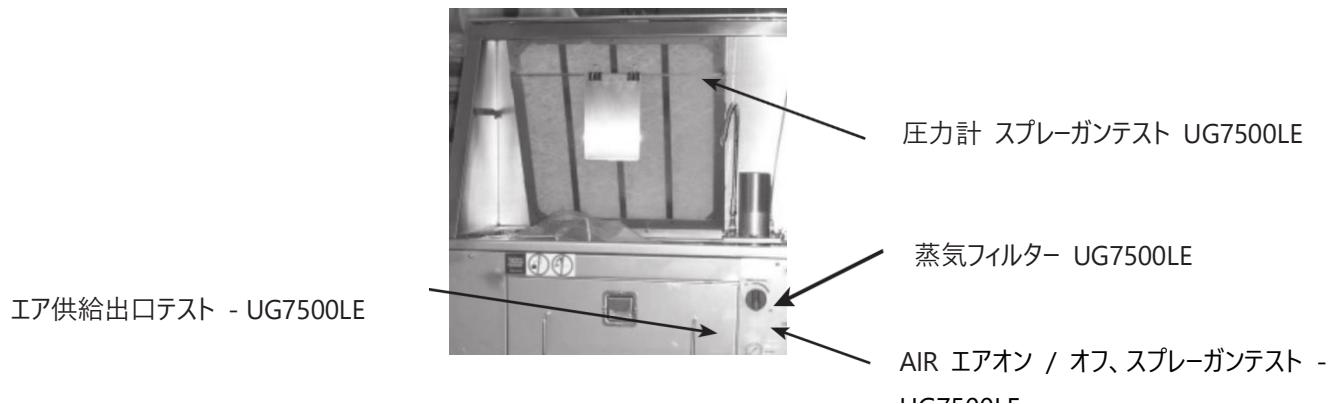
- UPP7500は洗浄タンク内で圧力罐と圧力罐ホースを洗浄します。圧力罐を洗浄タンク中央の回転ジェットスタンドの上に設置し、センター合わせしてください。
- UG7500の設定手順に従い、スプレーガンクリーナーにスプレーガンの準備と取付けを行ってください。圧力罐のためスプレーガンを設置する空間が不足する場合は、まず圧力罐を洗浄した後、洗浄タンク内に圧力罐が入った状態でスプレーガンを洗浄してください。
- 洗浄サイクル項の手順に従い、圧力罐とスプレーガンを洗浄してください。

ホース

- UPP7500の側面にはホース接続点が2箇所あります。ホースを接続してください。
- ボールバルブを「ホース洗浄」位置に切り替えてください。
- 洗浄サイクル項の手順に従い、ホースを洗浄してください。

UG7500LEユーザー専用**スプレーガンテスト - LEモデルのみ**

- スプレーガンをエア供給出口に接続し、エアオン/オフレバーでエアを入れてください。
- 圧力計でエア圧を確認し、キャビネット内右側の圧力調整器を使用して、ガンの仕様に合わせて圧力を調整してください（初期設定値は15-25 PSI）。
- ガンのテストを実施し、終了後はエアを止めてください。



UG7500HEユーザー専用：

Spray Gunスプレー缶

- UG7500HEはスプレー缶と圧力罐ホースを洗浄します。
- 「UG7500 - 設定」項の手順に従い、スプレー缶クリーナーにスプレー缶の準備と取付けを行ってください。
- 圧力罐ホース
- UPP7500の側面には2箇所のホース接続点があります。ホースを接続してください。
- ボールバルブを「ホース洗浄位置」に切り替えてください。
- 「洗浄サイクル」項の手順に従い、ホースを洗浄してください。

保守点検

- ステンレス製吸入フィルターは毎月清掃してください。

手順：

以下の「溶剤交換」項の第一歩及び第二歩に従ってください。

洗浄バケツから吸入管を引き上げ（下図左参照）、ナットからステンレス製吸入フィルターを取り外し、混合カップに入れた清浄な溶剤で洗浄してください（下図右参照）。

吸入管とフィルターの取り外し



フィルターの清掃



溶剤交換

- 洗浄溶剤は、洗浄効果が低下した場合、またはおよそ100回の洗浄後に交換してください。
- 1) キャビネットからクリーンバケツを取り出し、クリーンバケツからリンスポンプを取り外してください。
- 2) 排水バルブを閉じて（下図左参照）、洗浄バケツから排水ホースと吸入管を取り外し、キャビネットからバケツを取り出してください（下図中央及び左参考）。
- 3) 使用済みの洗浄溶剤を洗浄バケツから廃液ドラムに廃棄してください。洗浄バケツをキャビネットに戻し、排水ホースと吸入ホースを挿入してください。洗浄タンクに新しい溶剤を3ガロン（12リットル）注ぎ、洗浄バケツに排水させてください。クリーン溶剤バケツを5ガロン（19リットル）まで補充し、リンスポンプとバケツをキャビネットに戻してください。

洗浄ペール内には、入口フィルター

ドレンバルブ



付き吸引パイプとドレンホース付き吸

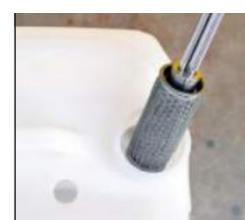


入口フィルター付き吸引パイプ

吸引チューブ

洗浄ペール

リンスペール（付属しません。お客様が溶剤入りの市販ペールを用意してください）



故障診断

問題	原因	是正措置
洗浄ポンプは作動音がするが、ジェットから液体が流れない	排水バルブが閉じている	排水バルブがまだ開いていない場合は、排水バルブを開けて（垂直位置に設定してください）
	液面が低すぎる	洗浄液の液面を確認してください。バケツが半分以下の場合は洗浄液を補充し、4ガロン（約15リットル）まで満たしてください
	ポンプまたは吸入・吐出ホース内に異物が詰まっている	次項の手順1「ダイアフラムポンプ内の液剤通路閉塞」に従って対応してください
洗浄ポンプからヒューヒューという異音がし、液体が流れない	ポンプのエアラインに水分または汚染物質が混入	次項の「ダイアフラムポンプ内の液剤通路閉塞」手順に従って対応してください
	流量調整弁が閉じている	手動流量調整弁は装置前面の制御パネルにあります。ロックナットを緩め、制御ハンドルを左に回して流量を増やしてください
	液面が低すぎる	洗浄液の液面を確認してください。バケツが半分以下の場合は、4ガロン（約15リットル）まで洗浄液を補充してください。
	ブラシに異物が詰まっている	ホースからブラシを取り外し、フットペダルを踏作動させてください。この時、溶剤が正常に流れる場合は、ブラシ（部品番号144-390S）と交換してください。
ブラシポンプが作動音も発生せず、ペダル踏込時も液体が流れない	フットペダルスイッチの不具合	フットスイッチの可動域の滑らかさを点検し、ガンオイルで潤滑してください。スイッチが滑らかに作動しない場合は、フットペダルスイッチ（部品番号155-400BF2）と交換してください。
	エアライン内の水分によりポンプが停止	次項の手順2「ダイアフラムポンプのエア通路閉塞」に従って対応してください。
洗浄ポンプが手動でタイマーを回すか、エアを遮断しないと停止しない／洗浄ポンプが始動しない	タイマーの不具合	タイマー（部品番号115-200K）を取り替えてください。

タイマーノブを回すと逆回転する	タイマーの不具合	タイマー（部品番号 115-200K）を取り替えてください。
-----------------	----------	--------------------------------

問題	原因	是正措置
運転者がタンクのメンテナンスを実施しているにもかかわらず、タンクの内壁に塗料が塗布されている	液体の洗浄力が不足している。	溶剤系：溶剤を交換するか、またはより品質の良い溶剤を検討する。 水系：水と AQUA-KLEEN 混合物を交換する。
ガンがきれいでない、ポンプは作動中、液体の流量は正常	トリガーが開位置にロックされていない	トリガーロックスプリング (pn120-350) を使用する
	スプレー缶がノズルに正しく取り付けられていない	適切なアダプターで再インストールする。
	溶剤系：不適合な溶剤 水系：水と AQUA-KLEEN 混合物を交換する	溶剤系：適合する溶剤を使用する 水系：水と AQUA-KLEEN 混合物を交換する
	ジェットが詰まっている	ジェットを洗浄するか、ジェットを交換する。
溶剤系：溶剤が赤またはオレンジ色に見える	溶剤中の水が金属ペールを腐食している。	洗浄溶剤を交換するかリサイクルする。溶剤使用に承認された HDPE ペールを使用する。
クリーンリンスボタンを押してもクリーンリンス液体が出ない	リンスポンプが漏れている。	リンスポンプ (PN URP-100SF) を交換する
クリーンリンスが汚れている		コンビネーションバルブ (PN UVB-400KIT) を交換する。

故障診断手順

手順 1

ダイアフラムポンプ内の液剤通路閉塞

ポンプが作動しているように聞こえるが液体が流れない場合、以下の手順で液剤通路を清掃してください：

- ・ バケツから吸入管を取り外し、**INLET液剤ホース**（図面参照）に85 PSIのエアを吹き込んでください。フットペダルを踏んでポンプを作動させてください。この手順を数回繰り返す必要がある場合があります。この方法で改善されない場合は、スプレーガンを使用して吸入ホースに水を吹き込み、1分間待ってからフットペダルを踏んでポンプを作動させてください。この手順を数回繰り返す必要がある場合があります。これでも効果がない場合は、ポンプを交換する必要があります。
- ・ ポンプの交換が必要な場合は、**Service Channel** および **Fixxbook** にログインするか、ユニラムサービスエンジニアにお問い合わせください。
- ・ ダイアフラムポンプの保証期間は購入日から**2年間**です。
- ・ この手順は、ブラシ用液剤ラインの閉塞を解消する場合にも有効です。自動ノズルの閉塞を解消する場合も同様の手順に従いますが、フットペダルを踏む代わりに**タイマー**を回してください。

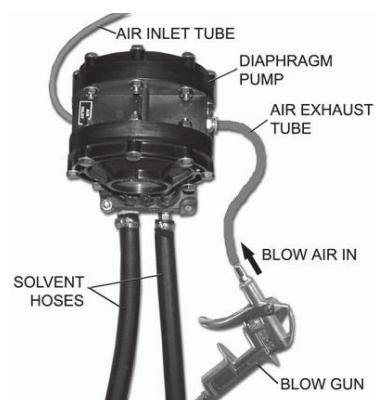


手順 2

ダイアフラムポンプ内のエア通路閉塞

持続的なヒューヒュー音があり、ポンプが循環作動していない場合は、エア通路の閉塞によりスプールバルブが停止しています。以下の手順で閉塞を解消してください：

- ・ ブロウガンを85 PSIのエア源に接続してください。ダイアフラムポンプの**エア排気ポート**から伸びる**青色ホース**を確認し、ブロウガンを使ってこのホースの開口端にエアを吹き込んでください。タイマーを回してください。手順が成功すると、ポンプは作動を開始します。この手順を数回繰り返す必要がある場合があります。これで解決しない場合は、ポンプを交換してください。
- ・ **原因:** エア供給源の汚染物質（水分、油、固体粒子など）
- ・ **予防措置:** 必要に応じて、エアライン用（脱湿）フィルターを取り付けてください。



手順 3

エアライン内の通路閉塞

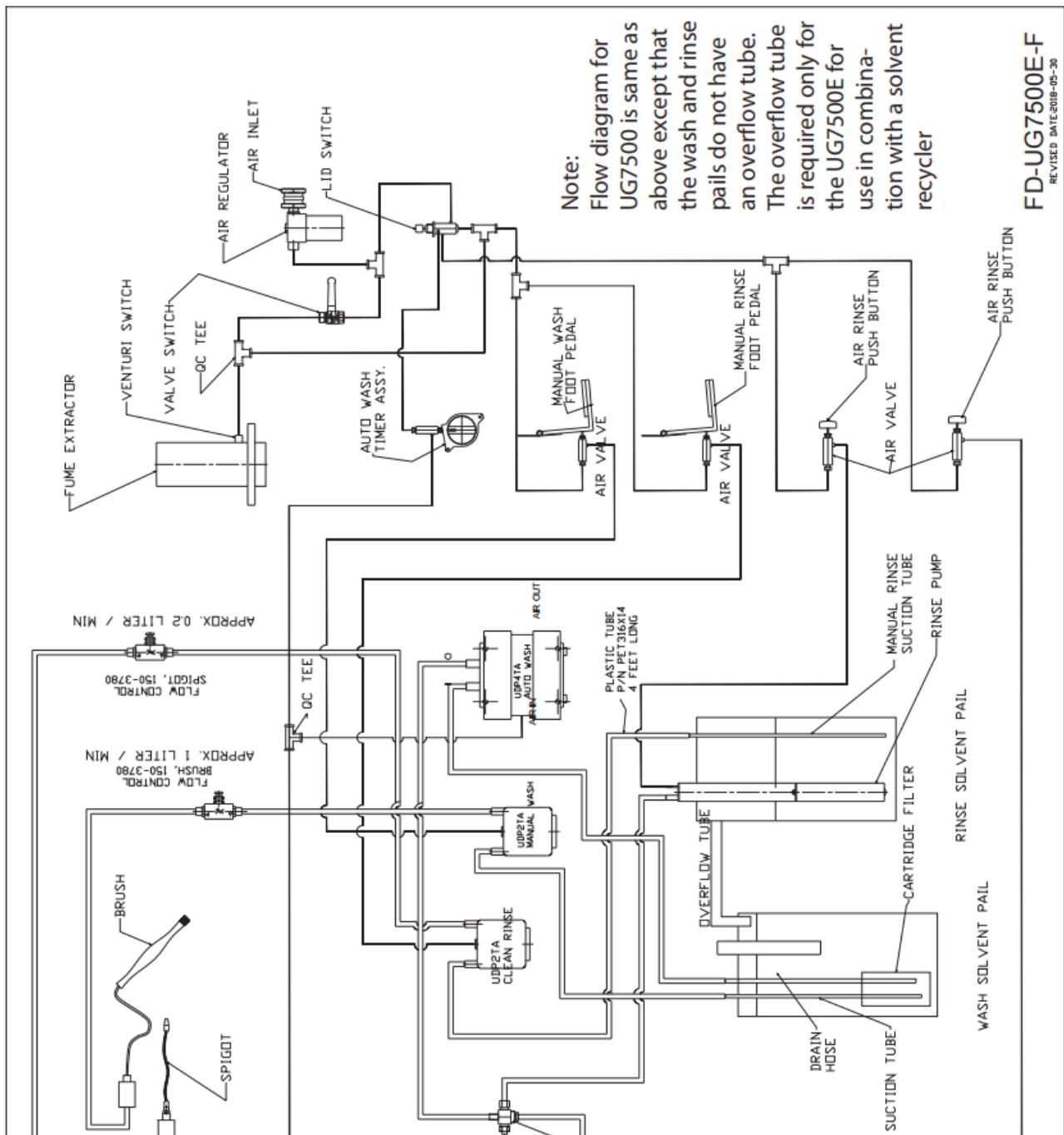
エアラインの構成要素は、ダイアフラムポンプ、エアバルブ、フットペダル、三方ボールバルブ、レギュレーターです。フロー図と「交換部品」のセクションを参照してください。

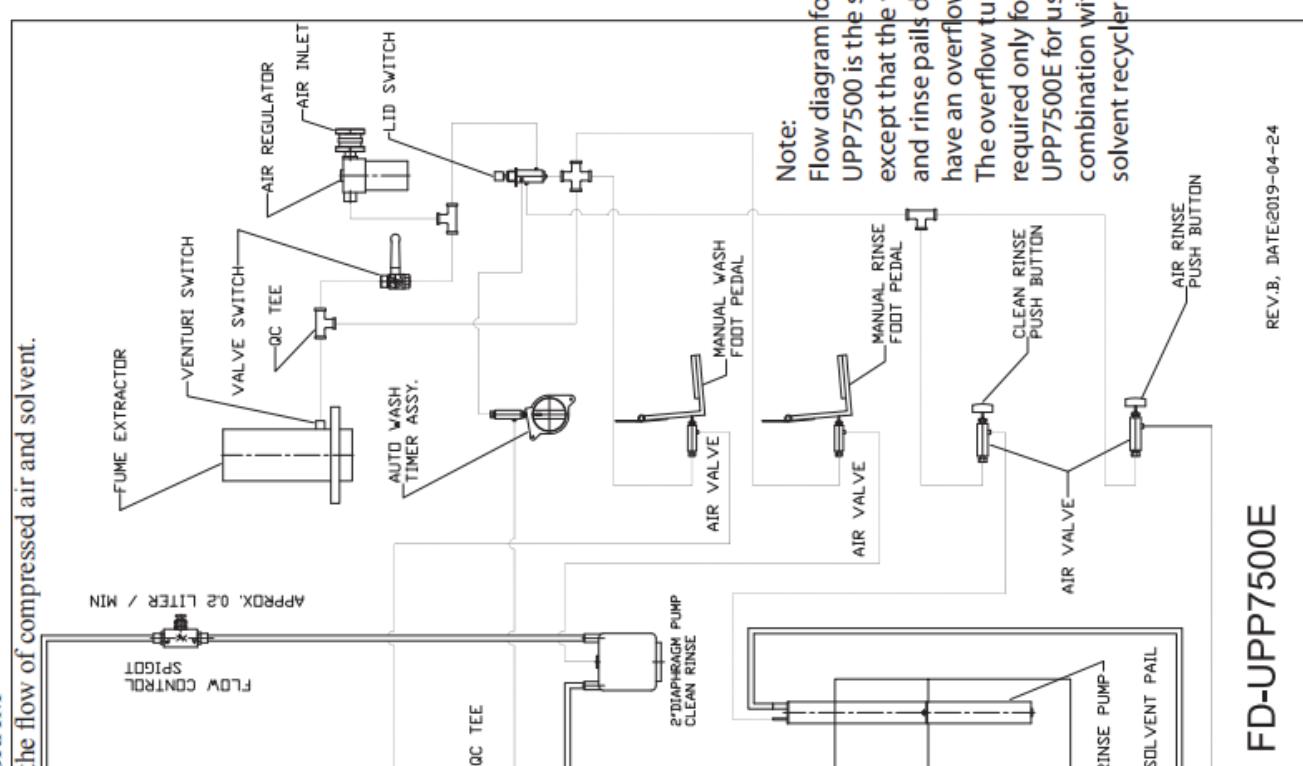
構成要素のトラブルシューティングを行うには：

- 1) クイックディスコネクトを使用して、該当する構成要素へのエアラインを切断してください。
- 2) フットペダルを踏み、エアラインに十分な正圧のエアが存在するか確認してください。十分な正圧のエアが存在する場合は、その構成要素を交換してください。

エア圧が存在しない場合は、上流側の構成要素に不具合があります。エアラインを再接続し、上記のステップ1および2に従って、次の上流側の構成要素の作動を確認してください。

FLOW DIAGRAM
Diagram to trace the flow of compressed air and solvent.



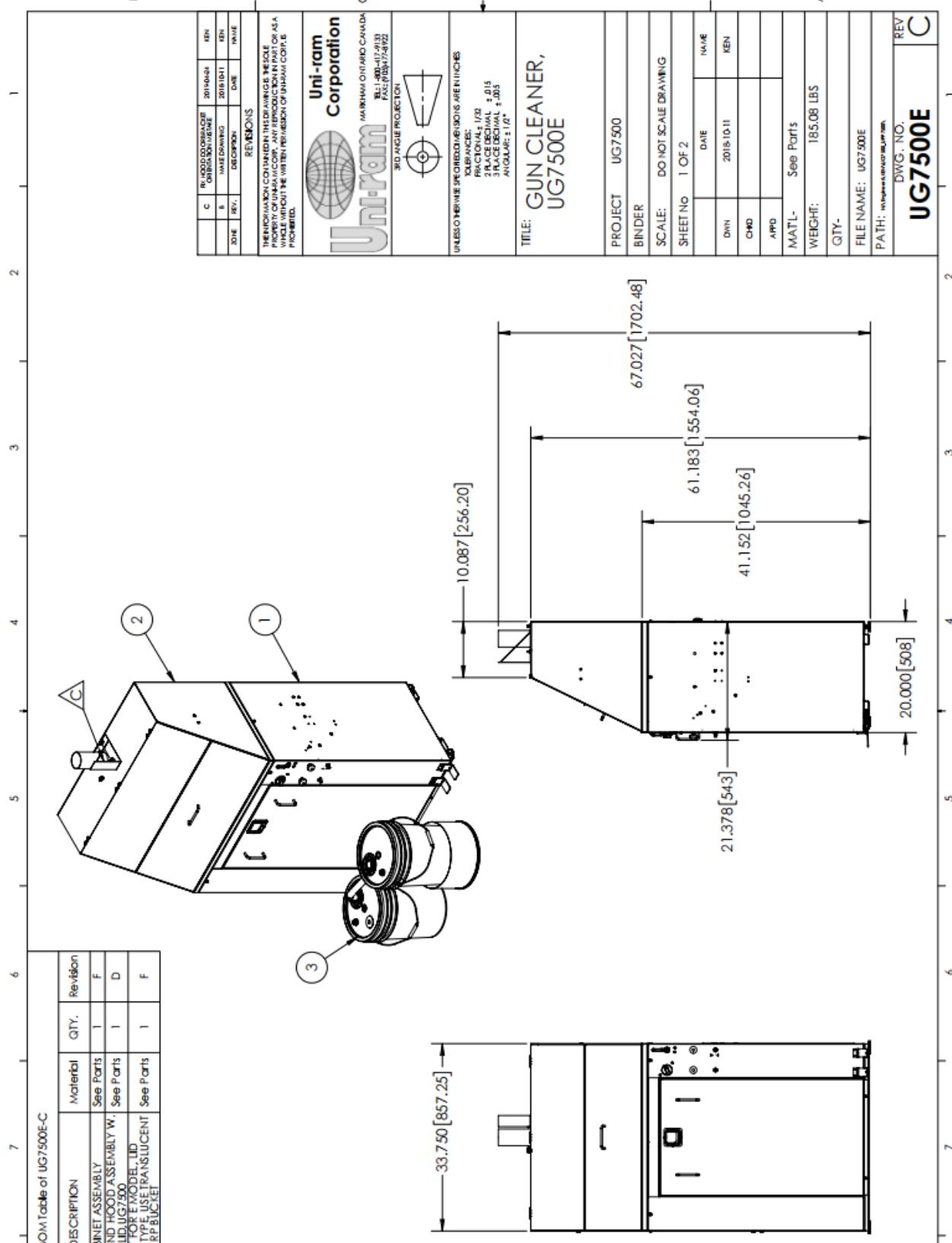


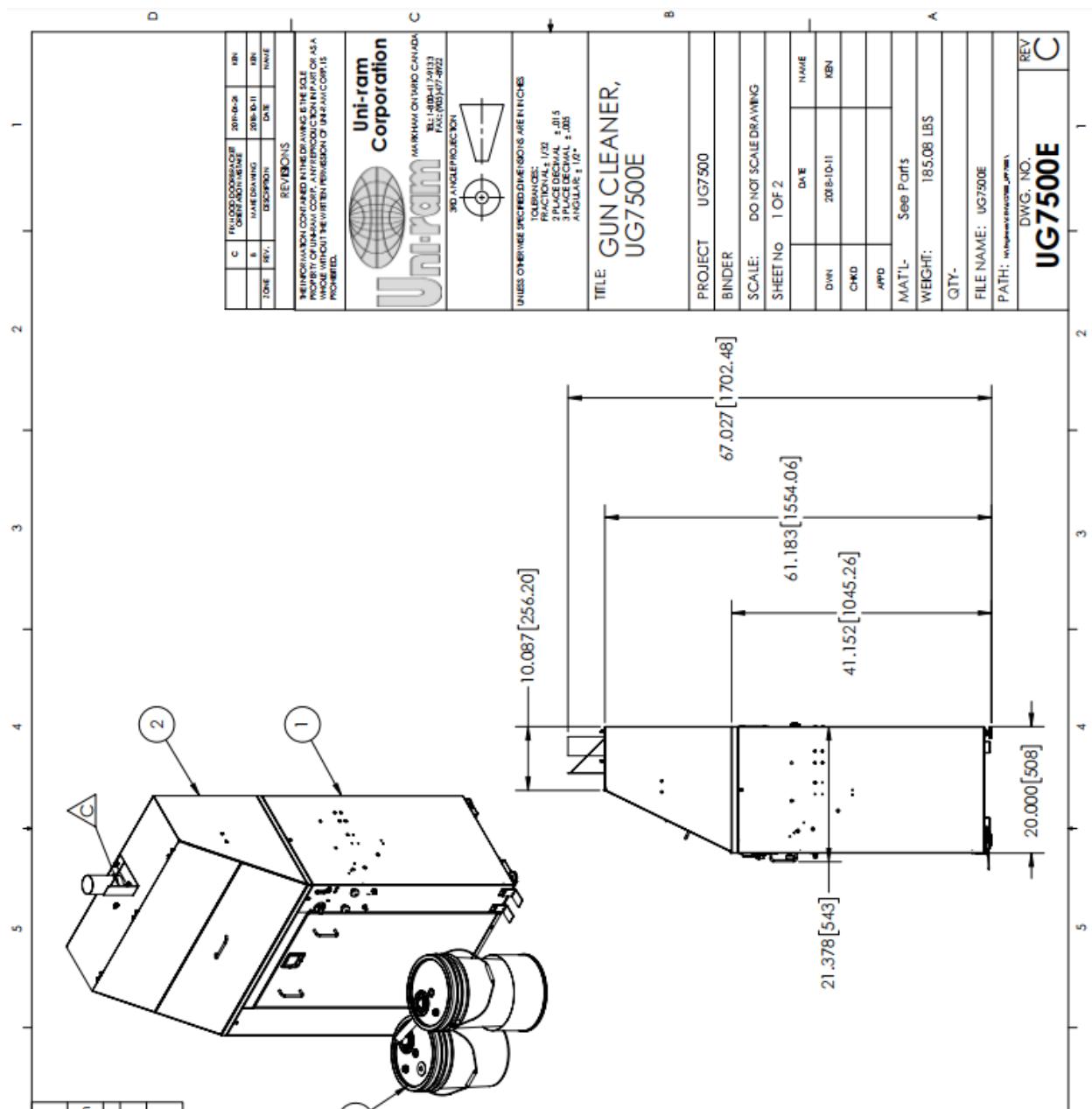


00HE-D

FD-UG7500HE-D

REPLACEMENT PARTS





REPLACEMENT PARTS

Part No.	Description
110-430PPS	Nozzle Adapter, Push On, Disposable and Conventional Systems
100-413F	Paint Cap Holder
115-200/K	Mechanical Timer Assembly, 5 minutes
140-230	Air Passage Plug
140-2340	Trigger Clamp & Plug Kit
144-399	Flow-Through Brush
144-390	Flow-Through Brush with Hose and Fittings
144-397	Hose for Flow-Through Brush

100-835	Ground Wire for Gun Cleaner, 18G, Green, 4 FT
UDP4TA	4" Dual Diaphragm Pump (Main Pump)
UDP2TAB	2" Dual Diaphragm Pump (for Flow-through Brush)
150-8115RT	Solvent Wash Pail
150-8114RT	Clean Rinse Pail

Part No. Description

110-430	Nozzle Adapter, Push On, Conventional Systems Only
110-430PPS	Nozzle Adapter, Push On, Disposable and Conventional Systems
780-3530	Nozzle Adapter, Disposable Cup Systems Only
100-413F	Paint Cap Holder
115-200/K	Mechanical Timer Assembly, 5 minutes
140-230	Air Passage Plug
140-2340	Trigger Clamp & Plug Kit
144-399	Flow-Through Brush
144-390	Flow-Through Brush with Hose and Fittings
144-397	Hose for Flow-Through Brush
100-835	Ground Wire for Gun Cleaner, 18G, Green, 4 FT
780-8000	2-Pail Set with overflow tube etc (does not include Hoses &Fittings for connecting to Solvent Recyclers)
UDP4TA	4" Dual Diaphragm Pump (Main Pump)
UDP2TAB	2" Dual Diaphragm Pump (for Flow-through Brush)
780-8120P	Clean Rinse Pail
750-815P	Overflow Tube
780-8110P	Wash Pail
780-8116F	Riser



完全製品保証

ユニラム製品は、高い性能基準で設計・製造されています。各装置は出荷前に詳細な工場テストを実施済みです。

本製品は、購入日より1年間の完全保証が付帯します。ユニラム株式会社は、工場サービス担当者が素材または製造上の欠陥があると判断した部品について、最初の購入者に対し、無償での製品修理または交換の権利を留保します。後述の「保証条件」に記載される消耗品は保証対象外です。

ユニラムは、お客様に「ユニラム返品手順」に従って製品を着払い¹でユニラム工場または認定サービスセンターへ送付いただくか、現地修理を行う権利を留保します。輸送中の損傷を防ぐため、購入者は製品を元の包装または同等以上の適切な包装で送付する必要があります。全ての装置は、洗浄済みで液体が残留していない状態で送付されなければなりません。

ダイアフラムポンプ：

スプレーガン洗浄機の心臓部であるダイアフラムポンプには、2年間の交換保証が付いていることをご通知いたします。万一、ご使用開始後2年以内にダイアフラムポンプが故障した場合は、ユニラムサービス（050-1725-3539）までご連絡ください。無償で新しいポンプをお送りし、元のポンプの返送を手配いたします。

保証条件：

ユニラム株式会社は、購入者による製品の保管、取扱い、使用状況、作業環境を管理できないため、本製品のあらゆる目的への適合性またはその使用から得られる結果について、明示または黙示を問わず、一切の保証または表明を行いません。この条件は全ての製品の販売に適用され、ユニラム株式会社の代表者または販売代理店がこの条件を免除または変更する権限はありません。

本保証は最初の購入者のみに適用され、製品が誤用、過負荷、不注意による損傷、改造、または操作及び設置説明書に規定されている以外の目的で使用された場合は保証対象外です。通常の使用による摩耗・劣化は保証の対象となりません。事故、輸送、火災、洪水、天災による損傷も保償されません。シリアルナンバーが改ざんまたは除去されている装置は対象外です。取扱説明書に記載されている無許可の化学薬品や酸性液体を本装置で使用した場合、保証は無効となります。購入者による無許可の自行修理または改造も本保証を無効とします。内装・外装の仕上げは本保証の対象外です。

消耗品（ガスケット、スクリーン、バッグ、フィルター、ノズル、エアジェットなど）は本保証の対象外です。

本保証は、法令その他により明示または黙示された他の全ての保証に優先します。

保証請求の際は、ユニラムサービス（050-1725-3539）までお電話いただき、該当装置のシリアルナンバーをお伝えください。